外国船の接近と天保の改革

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

今日の問い

外国船が近づく中、幕府はどのように対外政策と国内の混乱に向き合ったのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード	ノート　下線に語句を書こう
1 幕府は外国船にどう対応したか。 ラクスマン・異国船打払令	1792年にロシアの[1]＿＿＿＿＿＿が根室に来航して通商を求めた。1808年にはイギリスの軍艦[2]＿＿＿＿＿＿が長崎に侵入し、幕府は1825年に[3]＿＿＿＿＿＿を出した。これを批判した渡辺崋山や高野長英らの蘭学者が処罰された事件を[4]＿＿＿＿＿＿という。
2 幕府や藩はどのように改革を行ったか。 天保のききん・大塩平八郎	1830年代の[5]＿＿＿＿＿＿の中、1837年に[6]＿＿＿＿＿＿が大阪で乱を起こした。老中[7]＿＿＿＿＿＿は[8]＿＿＿＿＿＿を行い、物価を下げるため[9]＿＿＿＿＿＿を解散させたが、失敗した。薩摩藩や長州藩などは改革に成功し、[10]＿＿＿＿＿＿として力をつけた。

年表 ― この単元のできごと

1792	1825	1837	1839	1841	1842
ラクスマンが根室に来航する	異国船打払令が出される	大塩平八郎の乱が起こる	蛮社の獄が起こる	水野忠邦が天保の改革を始める	異国船打払令をやめる

まとめ

今日の問いに答えよう。「異国船打払令」「天保の改革」の2語を使って、2文で書きなさい。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ 異国船打払令の内容を説明できる　☐ 大塩平八郎の乱の背景がわかる　☐ 天保の改革の内容を言える　できた ＿＿ / 10

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。